

「人財」の育成 受賞のポイントとなった

錦水館は社員の育成に力を入れています。1人の社員が複数の仕事をこなすよう訓練して、残業を減らし、旅館業の課題であった中抜け勤務をなくしたことで、社員の満足度と労働生産性を高めたことが評価されました。



「私は『会社は社会の学校』だと思っています。まずは会社の中の基準、おもてなしの基礎を教えます。外国人のお客さまも多いので、社員向けの英会話教室を設け、宮島検定やおもてなし検定の受検など、社員の育成を徹底しています。改装など、お金をかけたハード面の整備も大事ですが、建物は時間が経てば古くなっていきます。一方で、社員は正しい方法で時間と愛情をかけて指導すれば意欲が上がりま

す。その結果、おもてなしの質も高まり、お客さまの満足度も向上します。この仕組みづくりが評価されたのだと思います」。

宮島と宿のファンを作る

「私たちの仕事は『宮島での楽しい思い出作り』のお手伝いです。宮島と宿の魅力を分かりやすく発信し、お客さまに体験してもらう



ことで、宮島と宿のファンを増やすことが私たちの役目だと考えています。多く

次の100年を見据えて

2012年に創業100年を迎えた錦水館。自家源泉による温泉の開湯、新郎新婦が人力車で宮島を練り歩く世界遺産ウエディング事業など、宮島に特化した新しい事業に取り組んでいます。

「経営で大切にしていることは、お客さまの安心・安全、そして『継続』です。『どんな時代になっても、清流のように清く、人々の楽しい思い出に残る、きらめく宿でありたい』という創業者の想いを、社員一人ひとりが大切に継承しながら、次の100年を見据え、時流に合わせた進化をしていき、宮島と宿の価値をともに高めていきたいです。これからもお客さまが幸せになれる会社であり続けたいです」と、今後の展望を語ってくれました。



2次元コードを読み込むと武内さんのインタビュー動画を見ることができます。(6月1日(金)～)ぜひご覧ください。

はつかいら人

vol.29

廿日市市で輝く人を紹介します

株式会社錦水館 代表取締役社長

武内 恒則さん

編集後記

30周年記念式典と市民祝祭では、写真の撮影に走り回りました。緊張感や大変さ以上に、このような節目に広報を担当させていただいたことへの誇りと、感謝の気持ちでいっぱいでした。

さて、今月号では、歯の健康づくりに関する記事を掲載しています。「からだの健康はお口から」という言葉に思わずハッとさせられた私。最近なかなか歯医者に行けなかったので、定期的に歯の健診を受けて、お口のケアに努めたいと思います。

西岡 秀治

30周年記念式典と市民祝祭では、レンズを通して、歌や演奏を披露される人たちのいきいきとした表情をのぞくことができました。好きなことや熱中できる何かを見つけ、それを超えることはなかなか難しいですが、常に好奇心を忘れない生活を心掛けたいと思います。 澁谷 里香

人のうごき

前月比

総人口	117,588人	(+101)
男	56,482人	(+47)
女	61,106人	(+54)
世帯	51,781世帯	(+96)

(平成30年5月1日現在、外国人を含む)